

2021年度論文検索ガイダンスを始めます。

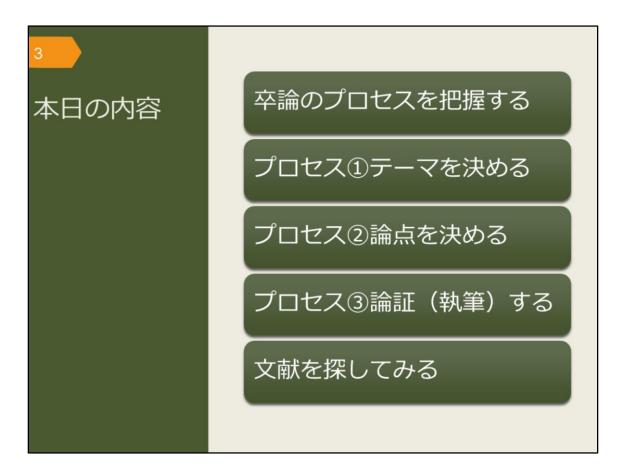
このガイダンスでは、これから卒業論文に取り組む3、4年生の皆さんに、論文検索に役立つ情報を紹介します。



このガイダンスを通して、次の2つのことを達成しましょう。

1つ目は、卒業論文への第一歩を踏み出すこと。最初に何をすればいいのか悩んでいる人は、その状態から脱出しましょう。

2つ目は、図書や論文といった、様々な文献の探し方を理解すること。もう既に卒業論文にとりかかっている人にも役立つ情報を紹介していきます。



このガイダンスでは、5つの項目について説明します。

まずは卒業論文がどのような過程を経て完成するのかを概観します。今、自分は その過程の中でどの位置にいるかを把握しましょう。現在地が分かれば、次にす るべきことが見えてきます。

そして、卒業論文のプロセスに沿って、図書や論文の探し方を詳しく紹介してい きます。

最後に、卒業論文への一歩として、次に読むべき文献を自分自身の力で見つけ出 しましょう。

1. 興味関心の赴くままに情報を得る 字論のプロセス 2. 卒論テーマを決める 3. テーマを深める情報を探す 4. 研究の論点を決める プロセス①テーマを決める プロセス②論点を決める プロセス②論点を決める プロセス②論論である 文献を探してみる

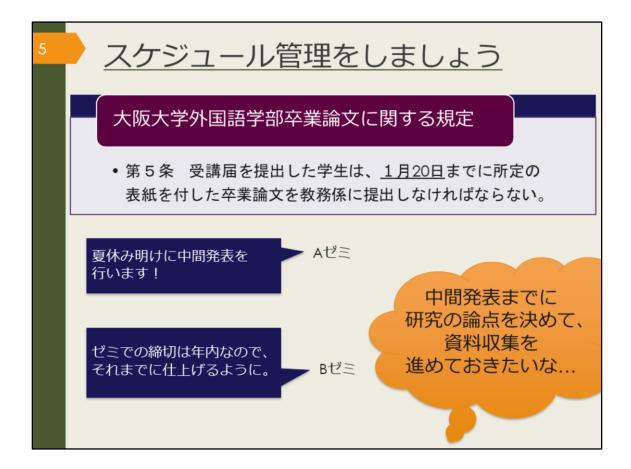
卒業論文の作成は、どのようなプロセスで進むのか見ていきましょう。 最初に重要なのは、テーマを決めることです。これまでに勉強してきたこと、 日々の生活の中で興味を持ったことなど、初めはぼんやりとしたもので良いので 何かテーマを考えましょう。

次に、ぼんやりとしたテーマを論文という形にするために、知識を深める必要があります。これまでの研究から分かったこと、解決されていない問題点について、誰よりも詳しくなるつもりで調べます。その中で、卒業論文の題目としてふさわしい論点を見つけましょう。

論文の核となる論点が決まったら、裏付けとなる情報を集め、執筆していくこと になります。

論文作成は概ねこのようなプロセスで進みますが、情報を集める中でテーマの見直しが必要になったり、執筆しながら必要な情報を集めたりと、引き返すことや同時進行することもあります。行き詰まって悩んだ時には、指導教員に早めに相談しましょう。

また、「卒論テーマを決める」「研究の論点を決める」「論証、執筆する」という部分は、最終的に自分で頑張るしかないところですが、その準備段階となる 「情報を探す」部分は、図書館が手助けしますので、ぜひ有効活用してください。



卒業論文には締切がありますので、スケジュール管理も大事です。

外国語学部卒業論文に関する規程では、1月20日までに卒業論文を教務係に提出しなければならない、と定めています。

所属するゼミによっては、中間発表があったり、ゼミ内で別途締切が設けられているケースもあるかもしれません。

3、4年生になると就職活動や教育実習もあるため、さらに忙しくなると考えられます。

締切から逆算して、いつまでに何をしておこう、と余裕をもって計画を立てま しょう。



興味のあることについて、下記 をポイントにキーワードを書き 出してみましょう

- 分野(言語、文化、社会、文学、 歴史、経済、政治など)
- 場所(国、地域)
- ▶ 時代(現代、近代、中世、古代)
- 対象(人物、動物、モノ)

では、プロセス①テーマを決める、について見ていきましょう。

ぼんやりとでも、興味のあることが思い浮かんでいますか?

そのアイデアを、まずは具体的な言葉にしましょう。

ポイントとなるのは、次のような概念です。

まずは、分野。言語に関することなのか、文化や社会に関することなのか、ここに挙がっている以外の分野なのかを考えます。

次に、場所や時代といった空間的、時間的な範囲。いくつかにまたがることもあれば、さらに狭い範囲のこともあるでしょう。

そして、研究対象。具体的な人物や集団、物質の他、制度や思想のように形のないものなど、様々です。

こうした点に注意して書き出してみると、キーワードを明確にできます。 キーワードがなかなか思いつかない方は、ひとまず分野、場所、時代をしぼりま しょう。

情報を探すためにはキーワードが重要になってくるので、今後図書や論文を読んだ際に、重要だと思うキーワードを見つけたらメモしておくのがおすすめです。

7 ‡

キーワードについて調べる

- ■辞書を使って正確な知識を得ましょう

70以上の辞事典、叢書、雑誌が検索できる国内最大級の辞書・事典サイト(同時アクセス数4)

11世紀半ばから現在までの英語の発生・変遷を歴史的に扱った 英語辞典

■外国学図書館 3階参考図書

(各分野の事典や語学辞書、百科事典)

↑ 図書館Webサイト 参考図書紹介ページ

」 外国学図書館が所蔵する 百科事典の一覧

書き出したキーワードについて、一度辞書を使って調べてみましょう。ここでは 阪大で使えるオンライン辞書と紙の辞書を紹介します。

Japan Knowledge LibとOED Oxford English Dictionaryは阪大が契約しているオンライン辞書です。阪大の学内ネットワークで使える他、自宅からでもKOANのIDとパスワードで認証を経れば使うことができます。日本語のキーワードならJapan Knowledge Libを、英語ならOEDを使って調べましょう。

他の専攻語の辞書や、分野ごとの専門用語は、紙の辞書を使って調べましょう。 図書館Webサイトの参考図書紹介ページでは、各分野の専門辞典や、外国語学 部の先生がおすすめする語学辞書を紹介しています。

また、外国学図書館3階参考図書コーナーには、百科事典も多く置いています。 「言語学百科事典」「世界民族百科事典」「世界格差・貧困百科事典」など、 テーマに近い百科事典があればキーワードで調べてみましょう。特にキーワード が思いつかない場合も、面白そうだと思う事典があれば、中身をめくってみると 思わぬ発見があるかもしれません。

こうした辞書や百科事典には、項目を作成する時に参考にした文献が紹介されていることがあります。そこで紹介されている文献を読めば、キーワードについて さらに詳しく知ることができるでしょう。

【Japan Knowledge Lib】

https://login.remote.library.osakau.ac.jp/login?url=https://japanknowledge.com/library/

(OED Oxford English Dictionary**)**

https://login.remote.library.osaka-u.ac.jp/login?url=http://www.oed.com/

【各分野の事典や語学辞書】

https://www.library.osaka-u.ac.jp/research_intro1/

8

卒論テーマを決めるための文献検索

▶キーワードを使って文献を探しましょう



▶本(図書)を読む

- まとまった知識が得られる
- 書店で購入したり、図書館で借りたりできる

まずは阪大 OPACで本を 探しましょう



▶新聞を読む

- 最新情報が得られるが、短い記事の集合のため内容は断片的
- ▶ 外国学図書館4階新聞コーナーや、新聞データベースで読むことができる



■インターネットで検索

- ▶ 手軽で情報量が多いので最初のとっかかりを得るためには有効
- 信頼性のある情報以外は参考程度にするのが無難

卒業論文のテーマを決めるためには、いくつかキーワードを書き出して、辞書を引くだけでは不十分です。そこで、キーワードを念頭に置いて、様々な情報を得ていきましょう。

最初は、まとまった知識が得られる図書を読むのがおすすめです。この章では、 阪大OPAC(オーパック)を使った図書の探し方を見ていきます。

また、内容は断片的になりますが、最新情報は新聞で得ることができます。キーワードを頭に置いておくと、情報が目につきやすくなるでしょう。新聞データベースについては、後の章で説明します。

インターネットでの検索は、辞書や新聞にもまだ掲載されていない、新しい言葉や概念についての手がかりを得るには有効でしょう。ただし、書かれている内容が信頼できるかどうかは、自分で見極める必要があります。

情報源にあたったり、複数の情報を比較するなど、信頼性の見極めには時間がかかったり経験が必要だったりするので、出どころが曖昧な情報は取り入れない方が無難です。

その点、大学図書館に置いてある図書は、出版社での編集と出版、図書館での購入の可否判断をクリアしてきているため、信頼性は高いと言えるでしょう。



では、OPACという蔵書検索システムを使って図書館の文献を探していきましょう。

大阪大学附属図書館のWebサイトの蔵書検索タブでキーワードを入力し、検索します。

検索結果が多すぎる場合は、いくつかのキーワードを組み合わせて検索しましょう。

逆に少なすぎる場合、何もヒットしない場合は、キーワードを一般的な言葉や、より広い概念の言葉に変えて検索します。

他のキーワードが思いつかない場合は、辞書を調べたり、先生や図書館に相談しましょう。

【大阪大学附属図書館Webサイト】 https://www.library.osaka-u.ac.jp/



検索結果の一覧を見ていき、気になる図書の詳細画面を開いてみましょう。

図書のタイトルや著者の名前といった情報と、その図書がどこにあるかという情報が書かれています。

この図書を読みたい、と思ったら、配架場所でどの図書館のどのエリアにあるか ということと、請求記号をメモして探しにいきます。

貸出中の場合は、予約しておくと返却された時に優先的に借りることができます。 また、他のキャンパスの図書館にあって直接行くことが難しい場合は、外国学図 書館に取り寄せることもできます。 11

図書館で文献を探す 阪大OPACで本を探す

新型コロナウイルス感染症にかかる国・自治体の対応方針により、 図書館の臨時閉館やサービス変更が発生します。

最新の情報は、図書館Webサイトでご確認ください。

大阪大学附属図書館全体のご案内

外国学図書館のご案内

新型コロナウイルス感染症にかかる政府・大阪府・箕面市の対応方針により、図書館では臨時閉館やサービスの変更が発生します。

最新情報は附属図書館Webサイトでご案内しています。

画面の、「新型コロナウイルス感染拡大防止措置にともなうご案内」をクリック して最新のお知らせをご確認ください。

【大阪大学附属図書館全体のご案内】 https://www.library.osaka-u.ac.jp/

【外国学図書館のご案内】

https://www.library.osaka-u.ac.jp/gaikoku/



阪大OPACには図書の内容、テーマで探す機能が2つありますので紹介します。 詳細画面の下の方に「件名(けんめい)」という項目があります。

これは、その図書の主なテーマを、一定のルールに基づいて言葉で表したものです。

中には件名が付いていない図書もありますが、件名がある場合は、リンクをクリックするとそのテーマに関連する図書を再検索できます。

検索したキーワードがタイトルに含まれていなくても、内容が関連するものを検索するための仕組みです。

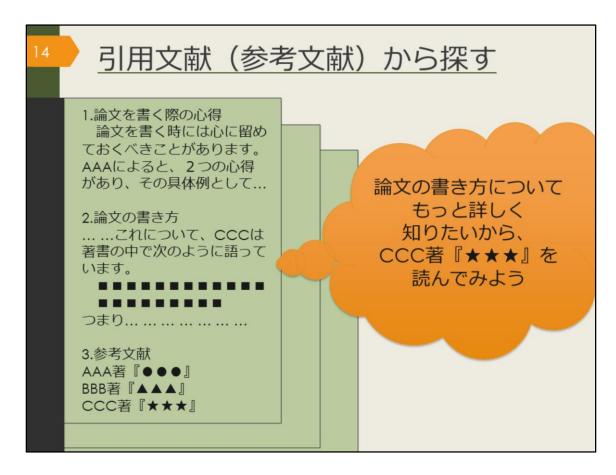


もう一つのテーマで探す機能は、配架場所や請求記号が書かれている枠の右の方にあります。

「隣の本」というアイコンです。

これは、図書館の本棚をバーチャルで確認できる機能です。

図書館では、関係のあるテーマの図書が近くに並ぶよう分類、整理しているため、 この機能を使うと、興味のある図書を見つけやすくなるでしょう。

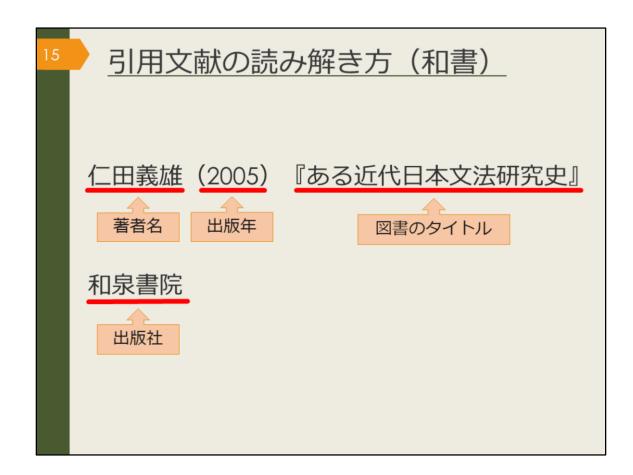


OPACで検索する以外にも、関連するテーマの資料の探し方として引用文献から 探す方法があります。

OPACで見つけたり、先生が授業で紹介していた図書で気になるものをまず読んでみましょう。学術的な図書であれば、書くにあたって参考にした資料や、引用した情報、関連のある文献が紹介されています。そのような文献を参考文献や引用文献といいます。

これらの文献を芋づる式に読んでいくことで関連する資料を次々に見つけることができます。

引用文献は独特の形式で書かれているので、その形式に慣れて文献を探せるようになりましょう。



これは、日本語の図書を引用文献の形式で書いた例です。

引用文献として紹介する時には、資料を特定するための情報を漏れなく書く必要があります。読者がその文献を読みたいと思った時に、辿り着けるようにするためです。

こうした資料を特定するための情報を、書誌(しょし)事項や書誌情報といいます。

では、ここに書かれている要素の中で、どれを使って阪大OPACを検索すればこの図書を探し出せるでしょうか。

阪大OPACでは、著者名、図書のタイトル、出版社などのキーワードで検索できます。出版年を検索ボックスに入力すると、上手くヒットしないことがありますので注意しましょう。



これは、英語の図書を引用文献の形式で書いた例です。 日本語とほぼ同じですが、外国の図書の場合は、出版社に加えて出版地も書かれることが多いです。こちらもOPACで検索する時は、出版年以外の情報で検索するようにしましょう。 | 引用文献の読み解き方(日本語の論文) | 遠藤織枝(2013) | 中国女文字・ハングル・ | 著者名 | 年次 | 論文のタイトル | 平仮名:その女性性を中心に」『日本語 | 学』32(11):64-79 | 巻(号) | ページ

引用文献や参考文献の中には、図書だけでなく論文が紹介されていることもあります。論文の書誌情報の読み解き方にも慣れておきましょう。 まずは日本語論文の例です。

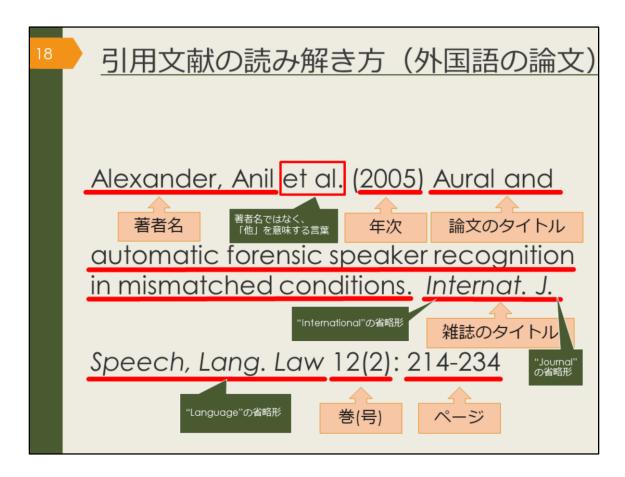
図書と違うのは、論文のタイトルと雑誌のタイトルという2種類のタイトルが書かれていることです。この2つをしっかり区別しましょう。

引用文献の形式は、文献を特定するための書誌情報を漏れなく書く、という大前提のもと、執筆者や出版元によって少しずつ異なっています。

ただ、おおむね論文のタイトルは前に、雑誌のタイトルは後ろに書くのが一般的です。そして論文の場合は雑誌の何巻何号の何ページ目に掲載されているか、という情報までが必要になります。

では、OPACで検索する時はどの情報を使えば良いでしょうか。

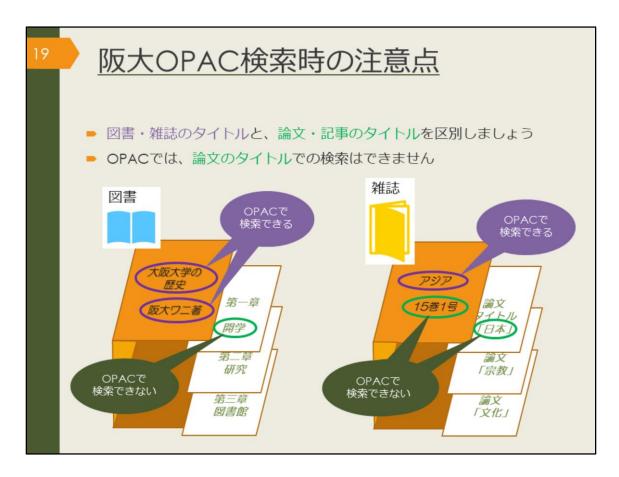
1つ覚えておいてほしいのは、OPACでは論文の著者名や論文のタイトルでは検索できない、ということです。また、年次、巻号、ページでの検索もできません。検索で使えるのは雑誌のタイトル、それから雑誌の出版社が分かっている場合は出版社名、となります。雑誌のタイトルだけでは検索結果が多くなりがちですので、絞り込み機能で雑誌に絞って検索するなど工夫しましょう。



最後は外国語論文の例です。

こちらも日本語論文とほぼ同じ情報ですが、著者が3人以上の場合に「他」を表す「et al.」が書かれたり、雑誌のタイトルが長い場合は省略形が使われるなど、慣れが必要かもしれません。

様々な論文を読んで、少しずつ慣れていきましょう。



OPACで検索する時の注意点をおさらいします。

探そうとしている文献が、1冊の図書なのか、雑誌に掲載された論文なのかをまず把握しましょう。

その上で、図書の場合はタイトルや著者名で検索し、雑誌論文の場合は雑誌のタイトルで検索するようにしましょう。

また、阪大OPACでは、阪大の図書館に所蔵していない資料はそもそも検索できません。

検索してもヒットしなかったり、自分の検索に自信がなかったりしたら、一緒に 考えますので、気軽に図書館へ相談してください。



雑誌論文を読むために、OPACで雑誌を検索してみましょう。

雑誌を探すために必要な情報は、配架場所と所蔵巻号の欄に書かれています。読みたい論文が載っている巻号は、どこで所蔵しているか、確認しましょう。

外国学図書館にある雑誌は、最新号以外は1週間の貸出が可能です。

ただ、図書と違い、雑誌は他キャンパスから取り寄せることができません。読みたい論文が決まっている場合は、有料ですが論文のコピーを取り寄せることができます。

雑誌をまるまる読みたい、という場合は、それぞれの図書館に直接行けば、読む ことができます。

雑誌はそもそも貸出できなかったり、一時持ち出ししかできなかったりするので、 基本的には必要な論文をコピーしてすぐ返却する、という使い方になります。



OPACで検索していると、「e」マークの資料がヒットすることがあります。これはオンラインで使える資料であることを表していて、電子ジャーナルや電子ブックと呼んでいます。それぞれ資料へのリンクがついているので、すぐに読むことができます。

電子ジャーナルの場合は、創刊号から最新号まで全部が見られるとは限らないので、巻号欄の利用可能な範囲を確認するようにしましょう。

阪大の学内ネットワークでアクセスすると、阪大が契約している電子資料の全てを使うことができますが、一部の資料は、KOANのIDで認証を経れば、自宅からも利用できます。

また、図書館Webサイトでは、無償でアクセスできるデータベース・電子ジャーナル・電子ブックをまとめたサイトを公開しています。

【無償でアクセスできるデータベース・電子ジャーナル・電子ブック】 https://www.library.osaka-u.ac.jp/off campus covid-19/ 22

<u>電子ジャーナル(電子ブック)の</u> 利用上のルール

禁止事項

- Systematic Download
- 全文データ (PDF等) の複製、再配布
- 全文データを研究や教育以外の目的 で使うこと

図書館で資料を借りる時は、汚したり破いたりしないように気をつけたり、著作権法などのルールを守って使うのと同じように、電子ジャーナルや電子ブックの利用にも出版社との取り決めで定められたルールがあります。ここに挙げた、禁止事項となる行為はしないよう、注意しましょう。

Systematic Downloadとは、自動ダウンロードソフト等を利用して、あるいは手動で、大量のファイルを短時間にダウンロードすることです。短い時間で論文を やみくもにダウンロードすることは控えましょう。

また、有料・無料に関係なく、ダウンロードした全文データをコピーして他人に あげたりしないようにしましょう。

違反があった場合は、違反者だけでなく、大阪大学全体で電子資料の利用が停止 される可能性があります。

23

図書館は自宅学習をサポートします



電子ブック

- 「中国語」「中国」など、専攻語のキー ワードで検索
- e-Bookで多読(多読資料専用ページ)



パスファインダー

「卒業論文にとりかかる」「研究テーマ の見つけ方(日本語教育編)」など

ここでは、自宅学習に役立つツールを紹介します。

電子ブックは、インターネットに接続したパソコン、スマートフォンなどで閲覧できる図書で、阪大では2021年4月時点で、約36,970冊の電子ブックが利用できます。紙の図書約400万冊と比べると少ないので、キーワードは絞り込み過ぎない方がよいでしょう。

また、OPACの詳細検索画面で、資料タイプの「電子ブック」にチェックを入れて検索すると、すべての電子ブックが検索結果に出てきます。検索結果から絞り込んでいく方が、効率が良い場合があります。

「e-Bookで多読」ページでは、英語学習のための多読用電子ブックをまとめています。

電子ブックは、同時アクセス数、つまり一度に同じ資料にアクセスできる人数が限られています。利用が終わったら、忘れずにログアウトしましょう。また、

「同時アクセス数に達しています」といったエラーが出た場合は、時間を置いて 試してみてください。

パスファインダーは、阪大図書館のラーニング・サポーターが作成した学習・研究に役立つ小冊子で、Webサイトから自由にダウンロードすることができます。 ここで挙げたテーマ以外にも、様々な情報があります。

【電子ブック】

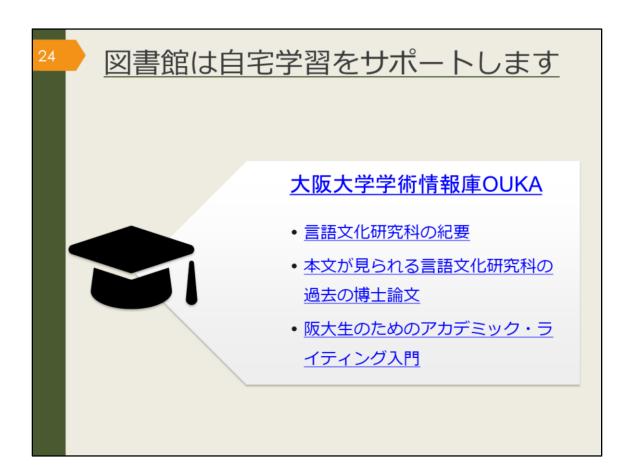
https://www.library.osaka-u.ac.jp/ebook/

【e-Bookで多読】

https://www.library.osaka-u.ac.jp/e-tadoku/

【パスファインダー】

https://www.library.osaka-u.ac.jp/pathfinder/



附属図書館では、大阪大学の研究成果を電子的に保管し、公開するサービスを 行っています。それを、大阪大学学術情報庫OUKA(おうか)と名付け、OUKA で、大阪大学の紀要や博士論文を無料で公開しています。

研究テーマに関する論文を検索するだけでなく、論文とはどんな体裁で書くのか を知る手がかりにもなります。

このスライドでは、OUKAで閲覧できる3つの文献へのリンクを用意しました。 ひとつは、大学院生が所属する言語文化研究科の紀要(きよう)。紀要とは、大 学や研究所が発行する雑誌のことです。

つぎに、インターネット上で本文が読める言語文化研究科の過去の博士論文、 最後は、阪大生のためのアカデミック・ライティング入門 です。 クリックして、自宅学習にもご活用ください。

【大阪大学学術情報庫OUKA】

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

【言語文化研究科の紀要】

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/cate_browse/?codeno=journal&schemaid=3000&catecode=200080

【本文が見られる言語文化研究科の過去の博士論文】

https://ir.library.osaka-

u.ac.jp/repo/ouka/thesis/search/100002011/?cate_schema=1000

【阪大生のためのアカデミック・ライティング入門】

http://hdl.handle.net/11094/71454

25

演習①OPAC検索



- ▶ 問題.
- ► 下記の論文を、どのようにすれば読むことができるでしょうか。 阪大OPACを使って検索してください。
- Parrill, Fey et al. (2018) The Relationship between Character Viewpoint Gesture and Narrative Structure in Children. Language and Cognition 10(3):408–434.

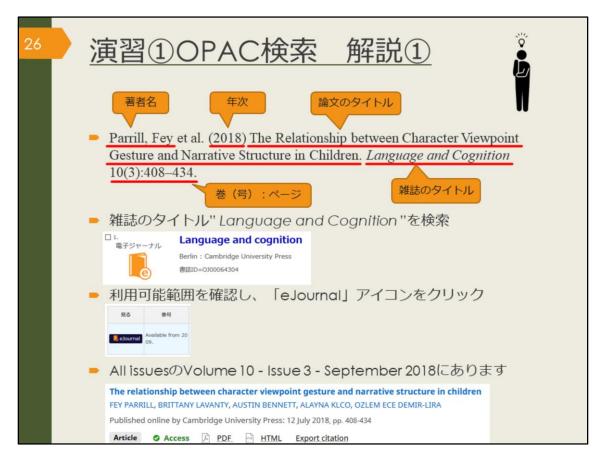
それでは、ここで、演習①にチャレンジしてみましょう。

こちらの論文を、どのようにすれば読むことができるでしょうか。阪大OPACを使って検索してください。

問題が解けたら、次の解説に進みましょう。

【阪大OPAC】

https://opac.library.osaka-u.ac.jp/



まず、問題に挙げられている文献の情報を正確に読み取りましょう。 この文献の著者はFey Parrillで、"The Relationship between Character Viewpoint Gesture and Narrative Structure in Children"という一区切りのタイトルの後に、イタリック体で"Language and Cognition"とあります。 タイトルが2つあり、後ろの数字は巻号、ページを表していると考えられるので、

これは論文のようだと分かります。 論文を探す場合、OPACでは雑誌のタイトルで検索する必要がありましたね。雑誌のタイトル" Language and Cognition "で検索しましょう。

電子ジャーナルがヒットするので詳細画面を開きます。

巻号欄を見ると、" Available from 2009."とあります。

この論文は2018年のものなので、利用可能な範囲に含まれることが確認できました。

「eJournal」のアイコンをクリックします。

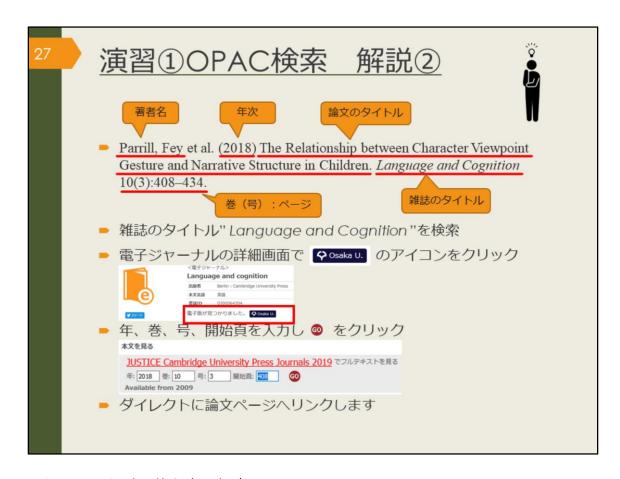
自宅など、学外から使っている場合はログイン画面が出るので、KOANのIDとパスワードでログインしましょう。

その先は、電子ジャーナルを提供している" Cambridge University Press"のサイトです。

"Latest issue"最新号や、"All issues"すべての巻号、といった文字が見つかりましたか?

"All issues"をクリックし、年や、Vol、Issueといった巻号を頼りに論文を探しましょう。

課題の論文は、Volume 10 - Issue 3 - September 2018の2番目にあります。 PDFのリンクをクリックすると、本文を読むことができます。



もう一つのたどり着き方も紹介します。

電子ジャーナルの詳細画面で「電子版が見つかりました。Osaka U.」というアイコンをクリックすると、年や巻号、開始ページを入力する画面が出ます。ここに情報を入力しGOを押すとダイレクトに論文のページへ飛ぶことができます。